

江戸川区情報化推進計画



平成 15 (2003) 年 3 月

江 戸 川 区

江戸川区情報化推進計画目次

はじめに	1
第1章 計画策定の背景	
1 計画策定の背景	2
1-1 IT化の社会的背景	
1-2 国・東京都・他自治体の動向	
1-3 江戸川区のこれまでの取組み	
第2章 計画の基本方針	
1 情報化の基本方針	4
1-1 基本理念	
1-2 計画の位置付け	
1-3 計画期間	
2 情報化の目標	5
3 基本戦略	5
第3章 事業推進計画	
1 区民に身近で便利な窓口サービスの実現	9
【ビジョン1】 窓口事務のワンストップ化／ノンストップ化	
【ビジョン2】 問合せ・相談サービス提供方法の多様化	
【ビジョン3】 情報提供サービスの充実	
2 地域のパートナーシップの育成	15
【ビジョン4】 区民との協働による区政運営の推進	
【ビジョン5】 地域コミュニケーションの活性化	
【ビジョン6】 地域の産業を支援するIT環境の整備	
【ビジョン7】 区民の情報リテラシー向上支援	
3 区行政の効率的な運営の推進	20
【ビジョン8】 内部事務の電子化の推進	
【ビジョン9】 個別システムの高度化の推進	

第4章 計画の推進にあたって

1 庁内情報基盤の整備	24
【ビジョン10】 情報化社会に応じた人材育成の推進	
【ビジョン11】 全庁的な情報化に対応したセキュリティ対策の実施	
【ビジョン12】 情報化基盤の整備	
【ビジョン13】 外部リソースを有効活用した情報化の推進	
2 情報化の推進体制	28
3 情報化による効果	29

参 考 資 料 編

資料1 電子自治体構築スケジュール	1
資料2 電子政府・電子自治体構築の取組み	2
資料3 本区OA化・情報化の歩み	4
資料4 第25回江戸川区民世論調査結果（抜粋）	6
資料5 江戸川区情報化推進本部設置要綱	8
資料6 江戸川区情報セキュリティポリシー	10
「江戸川区情報管理安全対策要綱」	
「江戸川区情報管理安全対策基準」	
資料7 IT豆知識 ～What's IT?～	22
資料8 IT用語集	33

はじめに

今日、インターネットの普及、携帯電話やモバイル・コンピュータ等の携帯情報端末に象徴されるIT（情報通信技術：Information Technology）が飛躍的に進歩普及し、私たちの生活スタイルや企業経営が大きく変化してきています。ITが目覚ましい発展は、単なる技術革新ではなく、社会のシステムや人の意識・価値観にまで変化を及ぼす意味で、「IT革命」といわれる大きな社会構造の変化をもたらしており、行政においてもこれらの動向に対応した施策の展開が喫緊の課題となっています。

江戸川区においても、ITを行政経営の改革を推進するための重要な手段として位置付け、電子区役所の構築に向けて全庁をあげて取り組んでいきます。

情報化の取組みにあたって重要なことは、「行政情報へのアクセス改善」「行政手続に係る区民の利便性向上」「新たな地域コミュニティの育成」「行政事務の効率化・高度化」といった、区の諸施策を具体化し拡大していくことにあります。

ITは、様々な可能性を秘めています。ITを利用する区民や企業等の視点から「やるべきこと」を創造し、実施していかなければなりません。

またその際は、手段と目的を履き違えてはなりません。ITは手段にすぎず、目的は「区民・企業等の利便性の向上、行政の効率化」などにあるのです。

申請書の提出だけをオンライン化し、対面による事前説明、膨大な添付書類の提出を求め続けるなど、現在の業務や仕事の流れをそのままオンライン化するだけでは、業務を迅速化・簡略化するITの効果が相殺されてしまいます。

ITの実効を引き出すには、情報処理の自動化・効率化とともに、業務プロセスの改善や、類似業務の統廃合等が必須であり、従来ありがちであった部署ごとに情報を管理し利用する縦割り行政を改めていかねばなりません。そのうえで、各部署横断的に情報を共有・活用できるシステムを構築することが必要不可欠です。

さらには今後、国や他の地方公共団体とともに、インターネットを活用して組織の壁を越えた迅速な情報の共有・活用を図っていくことが重要です。

また、行政情報の公開は、区民から信頼される公正で民主的な行政の確立にとって不可欠です。区政全般にわたる詳細な情報を区民に提供できるよう、ホームページの充実を図っていくとともに、区民からの意見・要望の受付や区政参加など、インターネットを通じた区民との情報交流を推し進めていくことが重要となっています。

行政の組織、制度、業務を改革し、情報化基盤を整備し、区民サービスの向上と行政事務の効率化・高度化を目的にIT施策を推進していくことこそが、今後“やるべき”重要な仕事です。

そして、その仕事を担うのは私達職員一人ひとりです。私達個々がリテラシー向上に努め、職場の意識を高め、情報化に対する組織体質を全庁あげて養っていくことが何よりも重要です。

ITの有効活用は、現場の知恵からのみ生まれるのです。